広報 みなと 2.21
平成24年（2012年）
財政課 ☎3578−2111（代）
内線 2099
FAX 3578−2975（財政課）
http://www.city.minato.tokyo.jp
平成24年度予算特集号

平成24年度 予算案が決まりました

港区長 武井雅昭

わが国の景気は、東日本大震災や欧州の政府債務危機などの影響により、現在も依然として厳しい状況にあります。平成24年度予算案は、こうした社会経済情勢はもとより、国や東京都の動向に注視し、今後の区政運営への影響を的確に見極めた上で、区民福祉のさらなる向上を目指し、編成しました。

予算総額は、1,422億2,709万円となりました。

本予算案は、2月22日(水)から開会する平成24年第1回港区議会定例会で審議されます。

平成24年度予算では、長引く景気低迷の影響を受け、特別区民税収入は、4年連続の減収となり、その額は減収前の平成20年度決算と比較して120億円を超えるものとなりました。

私は、このような厳しい社会経済情勢にあっても、区民の生命と財産を守るため安全・安心の確保を最優先事項とし、活力あるまちの実現をめざし、「東日本大震災を教訓として、災害に強いまちと安全・安心な区民生活を実現するための予算」として編成しました。

港区後期基本計画の初年度となる平成24年度は、計画計上事業を着実に推進していくとともに、東日本大震災を踏まえた災害対策の充実・強化など、新たな行政需要にも積極、果敢に取り組んでまいります。

今後も、区民に信頼され区民の身近にあって、区民の誇りを創造する区政運営を基本姿勢とし、「人にやさしい創造的な地域社会」の実現に向けて、区民の皆さんの期待に応えられるよう、全力で取り組んでまいります。

各会計の財政規模

一般会計

予算総額は、1,035億5,000万円で、前年度に比べ117億9,000万円、10.2%の減となります(表)。

<歳入> 特別区税は、長引く景気低迷の影響を受けて、平成23年度に比べ13億6,364万1千円、2.4%の減となりました。また、国庫支出金は、子ども手当(平成24年度からは子どものための手当)や社会資本整備総合交付金の減などにより、20億2,464万1千円、18.3%の減となりました。繰入金は、財政調整基金や公共施設等整備基金からの繰入れの減などにより、80億3,886万8千円、40.5%の大幅な減となりました(グラフ1)。

<歳出> 目的別歳出では、総務費が、田町駅東口北地区公共公益施設整備などの減により39億8,706万1千円、16.9%の減となりました。環境清掃費は、資源化センター等機能再編整備などの減により7億3,569万8千円、11.7%の減となりました。民生費は、港南子ども中高生プラザ等建設などが増となる一方、特別会計繰出金の予算科目の組替えなどにより65億671万6千円、14.7%の減となりました。衛生費は、みなと保健所改築などの減により38億5,210万1千円、46.0%の減となりました。産業経済費は、芝五丁目用地取得などの減により12億5,310万1千円、29.0%の減となりました。土木費は、建築物耐震改修等促進などが増となる一方、虎ノ門・六本木地区再開発事業などの減により14億4,369万3千円、11.0%の減となりました。教育費は、港南小学校等改築などの減により7億757万4千円、5.7%の減となりました。また、諸支出金は、特別会計繰出金の予算科目の組替えにより、67億8,379万6千円、2,665.4%の大幅な増となりました。

性質別歳出では、人件費が、職員定数の見直しなどにより、3億6,324万3千円、1.7%の減となりました。扶助費は、生活保護などが増となる一方、子ども手当(平成24年度からは子どものための手当)などの減により2,087万8千円、0.1%の減となりました。このようなことから、義務的経費は、全体として3億8,412万1千円、1.0%の減となりましたが、当初予算額に占める割合は、平成23年度と比べ3.5ポイント増加し、38.1%となりました。

投資的経費は、みなと保健所改築などの減により、96億367万円、34.5%の減となりました。

その他経費は、次期行政情報システムの整備の終了による物件費などの減により、全体として18億220万9千円、3.8%の減となりました(グラフ2・グラフ3)。

国民健康保険事業会計

保険給付費が減となる一方、後期高齢者支援金等の増などにより、平成23年度に比べ5億1,448万9千円、2.5%増加し、212億3,470万9千円となりました(表)。

後期高齢者医療会計

広域連合負担金などが増となったため、平成23年度に比べ3億994万9千円、7.5%増加し、44億4,401万8千円となりました(表)。

介護保険会計

第5期介護保険事業計画における保険給付費などの増により、平成23年度に比べ、12億7,062万7千円、10.8%増加し、129億9,836万3千円となりました(表)。

平成24年度予算の概要(全体像)

「東日本大震災を教訓として、災害に強いまちと安全・安心な区民生活を実現するための予算」

予算編成の基本方針

1. 東日本大震災を踏まえ災害対策等の充実・強化をはじめ、区民の安全・安心を確保する様々な施策を、最優先課題とし、予算化していきます。
2. 平成20年6月の区長施政方針に掲げた区政運営に関する基本方針、区民とともにめざす6つのまちの姿と区政改革の方向性を踏まえた施策を確実に実施するとともに、その総仕上げに向け、予算化していきます。
3. 港区基本計画(後期3年)見直し方針との整合を十分図るとともに、計上する事業は着実に推進できるよう予算化していきます。
4. 区民の参画と協働の積極的な取組により、各種事業が、区民一人ひとりのライフステージに応じたきめ細かなサービスとなるよう、区民生活の実情を的確に把握し、区民の視点に立って創意工夫を図っていくことで、区民生活のすみずみまで目の行き届いた、港区ならではの質の高い行政サービスを提供していきます。
5. 限られた財源を重点施策へ集中的に配分するため、新規及びレベルアップ事業については、スクラップ・アンド・ビルドの原則を一層徹底し、事業の必要性・効率性・効果性を見極めた上で予算化していきます。また、本年5月に、区民の安全・安心の更なる確保を目的に全ての事務事業について行った、「事務事業の見直し調査結果」を踏まえ、事業の統廃合や事業手法の見直しを確実に行うとともに、既存事業の再構築を進め、より優先度・重要度の高い事業を重点的に予算化していきます。
6. 今後のいかなる社会経済情勢の変化にも柔軟に対応し、港区ならではの施策を将来にわたり安定的に推進していくため、「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、後年度負担にも十分配慮するとともに、人件費の圧縮、経常的経費の節減などの不断の内部努力を徹底していきます。

※「平成24年度予算編成方針」(平成23年8月22日)より抜粋。

1 災害に強く環境にやさしいまち

1. 災害に強いまちを実現する総合的な防災対策の推進
2. 安全で快適な都市生活の実現
3. 港区から発信する環境都心づくり

2 将来に夢と希望を持って暮らせるまち

1. 健やかな子どもの「育ち」を支える環境の整備
2. 誰もが安心できる生活の実現
3. 子どもの個性や創造力を伸ばす教育の推進

3 地域の活力があふれるまち

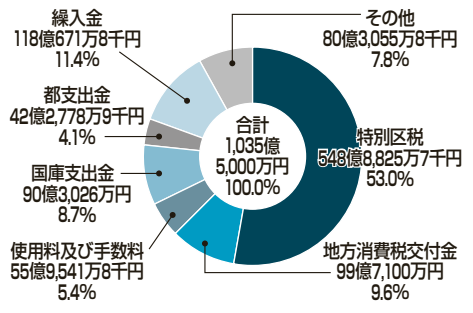
1. 活力に満ちた地域経済の推進
2. 地域のつながりを大切にする施策の推進
3. 文化・スポーツに親しむ環境の創出
4. 区民参画を推進する環境の整備

表 各会計の財政規模

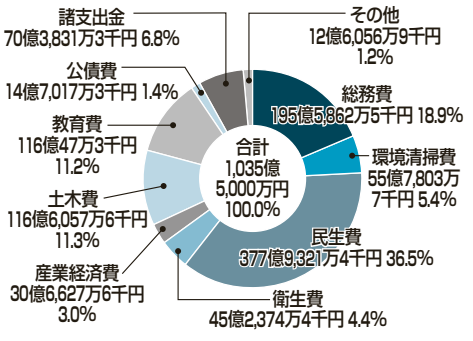
(単位:千円、%)

区分	平成24年度 当初予算額	平成24年度 構成比	平成23年度 当初予算額	平成23年度 構成比	対前年度比較 増減額	対前年度比較 増減率
一般会計	103,550,000	72.8	115,340,000	75.9	△ 11,790,000	△ 10.2
国民健康保険事業会計	21,234,709	14.9	20,720,220	13.6	514,489	2.5
後期高齢者医療会計	4,444,018	3.1	4,134,069	2.7	309,949	7.5
介護保険会計	12,998,363	9.1	11,727,736	7.7	1,270,627	10.8
合計	142,227,090	100.0	151,922,025	100.0	△ 9,694,935	△ 6.4

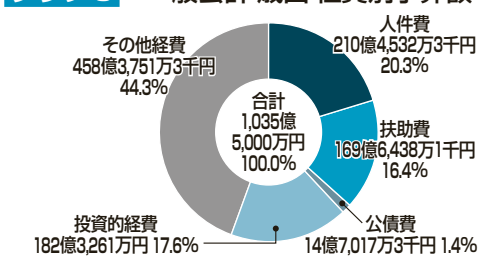
グラフ1 一般会計 歳入 予算額



グラフ2 一般会計 歳出 目的別予算額



グラフ3 一般会計 歳出 性質別予算額



※計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計などと一致しない場合があります。

港区基本計画事業の着実な推進

分野別計画			
	◆かがやくまち(街づくり・環境)	46事業	43億4,811万円
	◆にぎわうまち(コミュニティ・産業)	11事業	23億1,057万円
	◆はぐくむまち(福祉・保健・教育)	35事業	79億7,548万円
地区版計画書	芝地区版計画書	12事業	3,303万円
	麻布地区版計画書	12事業	3,821万円
	赤坂地区版計画書	9事業	3,667万円
	高輪地区版計画書	12事業	4,476万円
	芝浦港南地区版計画書	13事業	4,302万円
	◆実現をめざして	2事業	2億 618万円
計		152事業	150億3,601万円

将来を見据えた財政運営

景気の先行きが依然として不透明であることから、歳入の根幹を成す特別区民税収入は、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、平成24年度予算編成においては、新たな港区財政運営方針のもと、新規及びレベルアップ事業については、必要性・効率性・効果性を見極め予算化し、既存事業についても、事業の統廃合等により再構築を進めました。また、人件費をはじめとした経常的経費の節減に取り組むなど内部努力を徹底しました。

今後も、港区財政運営方針に掲げている「次世代に過度な負担を残さない取組」、「自主財源の積極的な確保」、「効率的・効果的な予算編成手法の確立」、「不断の内部努力の徹底」、「区財政に関する情報の提供と活用」の5つの具体的取組を実施し、区民の誰もが将来にわたって安心できる財政運営を行い、磐石な財政基盤を確立していきます。

発行／港区　編集／企画経営部区長室　〒105-8511 港区芝公園1-5-25

平成24年度 重点施策

新　規　24年度から新たに行う事業
臨時(新規)　24年度から新たに行う臨時的な事業(※)
臨時(継続)　23年度以前から行っている臨時的な事業(※)
※単年度または数年度に限り臨時的に行う事業
レベルアップ　23年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業
(予算額はレベルアップ部分を含めた事業全体の金額)

1 災害に強く環境にやさしいまち

❶災害に強いまちを実現する総合的な防災対策の推進

ひとり暮らし高齢者等防災用品あっせん事業 新　規
2,243万円
災害時要援護者対策として、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方で、防災用備蓄品が必要な方に防災用品のあっせんをします。

障害者防災用品あっせん事業 新　規
634万円
災害時要援護者対策として、ひとり暮らしの重度障害者等の方で、防災用備蓄品が必要な方に防災用品のあっせんをします。

妊産婦防災用品あっせん事業 新　規
612万円
災害時要援護者対策として、妊産婦の方で、防災用備蓄品が必要な方に防災用品のあっせんをします。

緊急連絡体制等の整備 新　規 レベルアップ
476万円
災害発生時等における児童の安否確認や緊急情報等を連絡するため、保育園、児童館、区立の幼稚園及び小・中学校、放課GO→等の園児・児童の保護者に対し、メールを配信します。また、私立幼稚園に対しても、緊急情報等を配信します。

建築物建替等促進事業 新　規
3,600万円
区内で個人が居住する戸建て住宅や分譲マンションを対象に、耐震化の推進を図るため、建替工事に係る経費の一部を補助します。

職員の防災士資格取得の推進 新　規
329万円
区の職員が、防災に関する知識及び技術を習得し、災害時に迅速かつ的確な行動をとるため、防災士資格の取得を推進します。

各地区防災マップ作成 臨時(新規)
2,020万円
区民が災害時に適切な行動がとれるよう、地区版の防災マップ(携帯用)を作成し、管内の全世帯へ配布を行うとともに、総合支所の窓口等で配布します。

日射調整フィルムの導入 臨時(新規)
1,730万円
区有施設の震災時の窓ガラスの飛散防止や節電対策を図るため、日射調整フィルムを導入します。

AED設置施設データ作成 臨時(新規)
609万円
非常時に、自動体外式除細動器(AED)を利用することができるよう、区内のコンビニエンスストアなど民間施設等を含めた、設置場所のデータを作成します。

放射能・放射線対策 臨時(新規)
2,071万円
福島第一原子力発電所の事故の影響に対し、区民の安全・安心をより確かなものとするため、定期的に放射能・放射線量の測定及び公表等を行うとともに、区民向けの講演会を開催します。

地域防災計画修正 臨時(新規)
2,490万円
東日本大震災の発生により、現在行っている地域防災計画の見直しに向けた調査・検討結果を踏まえ、地域防災計画を修正します。

災害対応マニュアルの改定 臨時(新規)
601万円
地域防災計画の修正内容や、災害対策本部・各地区本部機能の強化に向けた検討を踏まえ、平成19年度に策定した港区災害対応マニュアルを改定します。

災害対策本部・各地区本部機能の強化 臨時(新規)
2億2,129万円
災害時における被災状況の迅速な把握と区民への速やかな情報提供に向けて、災害対策本部機能の拡充工事、防災行政無線の専用ホットライン(FWA)の増設及び災害時優先電話の再整備を図ります。また、各地区本部の機能を強化するため、地区本部に求められる役割と必要となる機能面の強化等を調査、検討します。

区有施設の防災対策の充実 臨時(新規)
7,107万円
災害時に区有施設利用者の安全を守るため、区有施設における防災対策を充実します。

災害時のボランティア受入支援 臨時(新規)
260万円
区が災害時に受け入れるボランティアの活動を支援するため、必要な物資を備蓄します。

東日本大震災避難者・被災者の臨時職員雇用 臨時(新規)
5,938万円
東日本大震災により避難してきた被災者の生活を支援するため、区の臨時職員として雇用します。

スポーツセンター耐震補強等 臨時(新規)
1億9,225万円
スポーツセンター利用者の安全・安心を確保するため、耐震補強工事及び天井・床・音響設備改修工事を行います。

防災街づくり整備指針改定 臨時(継続)
2,964万円
災害に強い街づくりの実現に向け、津波及び液状化の被害想定を行った上で、平成24年度改定予定の「港区地域防災計画」との調整を図りながら改定します。

シティハイツ芝浦建替 臨時(継続)
3億5,354万円
安心して居住できる住まいと障害者ケアホームを整備するため、実施設計及び建替工事を行います。

シティハイツ六本木建替 臨時(継続)
8,326万円
安心して居住できる住まい等を整備するため、基本設計及び実施設計等を行います。

夕凪橋架替 臨時(継続)
3億1,434万円
夕凪橋架替工事のうち下部工の施工を行います。

マンホールトイレ整備 臨時(継続)
640万円
震災時に避難所となる区立の小・中学校における、災害時のトイレ対策を充実するため、マンホールトイレを整備します。

帰宅困難者対策 レベルアップ
3,868万円
駅周辺滞留者対策推進協議会の設立・運営の支援や訓練を行うとともに、30,000人分の帰宅困難者用備蓄物資を整備します。

備蓄物資整備 レベルアップ
1億2,699万円
避難所での高齢者等の生活を支援するため、新たに簡易ベッドを備蓄します。

建築物耐震改修等促進事業 レベルアップ
4億9,655万円
区内の木造及び非木造建築物の耐震化を促進するため、補助率、限度額及び対象要件を見直し、支援制度の拡充を行います。

❷安全で快適な都市生活の実現

(仮称)三河台公園自転車駐車場整備 臨時(新規)
2億4万円
六本木駅周辺の放置自転車対策として三河台公園内に自転車駐車場を整備します。

アジアヘッドクォーター特区構想等の対応 臨時(新規)
1,500万円
東京都のアジアヘッドクォーター特区構想及び特定都市再生緊急整備地域の指定に基づき、区として主体的に取り組むため、基礎調査及び検討を行います。

田町駅西口・札の辻交差点周辺地区のまちづくり 臨時(継続)
809万円
田町駅西口・札の辻交差点周辺の公有地等を活用し、地域の課題に対応したまちづくりを行うため、新たな駅前形成や公有地の具体的な取組を検討し、整備構想の実現に向けた取組を行います。

環状2号線周辺地区のまちづくり 臨時(継続)
1,066万円
環状2号線周辺地区の特性から交通影響や環境に配慮した上で、まちづくりの規模、街区構成、建築物等について検討します。

新橋駅周辺地区のまちづくり 臨時(継続)
672万円
新橋駅周辺のまちづくりや都市計画道路(柳通り)の未整備などの課題について、地区が抱える課題を分析し、その課題を解決するための整備方策を検討します。

六本木・虎ノ門地区のまちづくり 臨時(継続)
50万円
「六本木・虎ノ門地区まちづくりガイドライン」を策定し、さらに実現に向けた開発協議会の今後のあり方や地区のまちづくりを推進する手法を検討します。

土地利用現況調査 臨時(継続)
1,244万円
平成23年度に東京都が実施した都市計画に関する基礎調査や今回、区が独自に調査する結果を「港区地域防災計画」、「防災街づくり整備指針」の策定に活用するとともに、比較解析を実施した上で「港区の土地利用」として取りまとめます。

建築物の高さに関する指定方針策定 臨時(継続)
768万円
区における新たな建築物の高さについて、平成23年度に策定した「建築物の高さの基本的な考え方」を踏まえ「建築物の高さに関する都市計画案」を策定します。

まちづくり支援検討 臨時(継続)
285万円
市街地再開発事業において、再開発による費用対効果など、再開発後の事後評価導入について検討します。

公園整備 臨時(継続)
2億3,892万円
区民の憩いや緑の拠点として、地域と調和のとれた公園となるよう整備します。

都市計画公園整備 臨時(継続)
7億5,370万円
緑化による都市環境の向上を図るとともに、広いオープンスペースを利用した防災拠点及び区民が憩えるレクリエーションの場として、都市計画公園を整備します。

田町駅東口北地区公共公益施設整備 臨時(継続)
12億7,469万円
既存区有施設の老朽化や多様化する施設需要に対応するとともに、災害対策の拠点として、田町駅東口北地区の公共公益施設の実施設計の変更及び建設工事を行います。

❸港区から発信する環境都心づくり

特別保護樹木・樹林の指定 新　規
325万円
区内の良好な緑を保全するため、特別に保護し、育成すべき樹木等を特別保護樹木・樹林として指定し、樹木の保全に必要な経費の一部を助成します。

家庭系ごみ量の「見える化」事業 新規
46万円
一部の集積所を対象に、区民の協力を得て、ごみの減量に取り組む前後でごみ量を計測し、計測結果を区民に周知することにより、ごみの発生抑制に対する意識の向上を図ります。

テナントの省エネ取組の推進 臨時(新規)
3,737万円
賃貸ビルにおけるCO_2排出量を削減するため、情報通信技術を取り入れ、テナントが電気等のエネルギー使用量を時間単位で随時確認できるようにすることで、省エネの取組を促すモデル事業を実施します。

区有施設低炭素化推進／教育施設低炭素化推進 臨時(新規)
1,527万円
区有施設におけるCO_2排出量を削減するため、電気等のエネルギーを使用する機器の運転・管理における省エネに向けた取組を行います。

環境影響評価(防風植栽の生育管理の検討) 臨時(新規)
578万円
建築物の建設に伴う風環境に対する影響を緩和するため、防風植栽の適切な生育管理を促進する仕組みについての調査・検討を実施します。

地球温暖化対策地域推進計画の改定 臨時(新規)
522万円
区内のCO_2排出量を削減し、持続可能な社会を実現するため、「港区地球温暖化対策地域推進計画」を改定します。

港区生物多様性地域戦略策定 臨時(新規)
1,016万円
区民や事業者と連携・協働して、生物多様性に関する普及・啓発と、自然環境の保全・再生を総合的に推進するために、「港区生物多様性地域戦略」を策定します。

環境にやさしい行動推進事業 レベルアップ
480万円
地球温暖化対策や環境に対する意識の向上のため、節電等の環境行動に付与されたポイントを利用することができる、「(仮称)エコチャレンジ事業」を実施します。

新エネルギー・省エネルギー機器等助成事業 レベルアップ
1億525万円
家庭や業務部門におけるCO_2排出量を削減するため、新エネルギー・省エネルギー機器等の設置費助成を拡大します。

2 将来に夢と希望を持って暮らせるまち

❶健やかな子どもの「育ち」を支える環境の整備

神明子ども中高生プラザ管理運営 新規
5,353万円
浜松町一丁目の旧神明運動広場に、乳幼児から中高生までの幅広いニーズに対応する機能を備えた神明子ども中高生プラザを開設します。

神明保育園管理運営 新規
1億6,339万円
浜松町一丁目の旧神明運動広場に、増加する認可保育園への入園希望に対応するため、神明保育園を開設します。

たかはま保育園管理運営 新規
9,018万円
港南四丁目に、増加する認可保育園への入園希望に対応するため、たかはま保育園を開設します。

子どものための手当 新規
32億2,696万円
子どものための手当を支給します。

みなと保育サポート事業 新規
4,229万円
朝日児童館分室(白金三丁目)廃止後、当該地において、パートタイム勤務や育児短時間勤務などの理由で家庭での保育が困難な児童を、継続的に保育するみなと保育サポート事業を実施します。

神明子ども中高生プラザ等建設 臨時(継続)
28億876万円
浜松町一丁目の旧神明運動広場において、子ども中高生プラザ等の建設工事を行います。

芝公園保育園等改築 臨時(継続)
2億9,435万円
芝公園保育園等の改築工事を行います。

麻布地区子ども中高生プラザ等建設 臨時(継続)
1億8,927万円
南麻布四丁目において、子ども中高生プラザ等の建設工事を行います。

麻布保育園等建設 臨時(継続)
3億2,745万円
六本木五丁目に建設する麻布保育園等の基本設計、実施設計及び建設工事を行います。

(仮称)三田四丁目保育園建設 臨時(継続)
9,957万円
三田四丁目に、現在の志田町保育園を移転整備するため、建設工事を行います。

港南子ども中高生プラザ等建設 臨時(継続)
22億4,621万円
港南四丁目において、子ども中高生プラザ等の建設工事を行います。

緊急暫定保育施設 臨時(継続)
17億8,858万円
増加する認可保育園への入園希望に対応するため、緊急暫定保育施設を1か所増設するとともに、青南保育室の保育定員を拡大します。

緊急暫定学童クラブ 臨時(継続)
617万円
旧飯倉小学校において暫定実施する東麻布学童クラブの開設に向け、事業者選考や備品等の購入を行います。

私立認可保育所設置支援事業 臨時(継続)
1億2,316万円
比較的に短期間で開設可能な事務所ビルで認可保育所を設置・運営する事業者に対し、施設改修費及び施設賃借料の一部を補助します。

児童遊園整備 臨時(継続)
4,732万円
地域の特性に合った安全で快適な児童遊園を整備します。

子どもの遊び場づくり 臨時(継続)
553万円
魅力ある公園の整備や区民との協働により、既存の公園等にはない、新しい遊びの環境を提供し、子どもがのびのびと遊べる空間づくりを推進します。

❷誰もが安心できる生活の実現

重度障害児の日中一時支援事業 新規
943万円
放課後や長期休業中に児童館等では過ごしにくくなってきている小学校高学年・中高生の重度障害児を対象に、長期休業中及び放課後の居場所を新たに確保し、重度障害児の生活支援を充実するとともに、家族の負担を軽減します。

障害児通所支援事業 新規
1億188万円
児童福祉法の一部改正により、これまで東京都児童相談所で措置等を行っていた障害児の通所支援事業が区に移管されることに伴い、通所支援事業を実施します。

障害者虐待防止・養護者支援事業 新規
90万円
「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の施行に伴い、制度の周知のための普及啓発を行うとともに、障害者虐待の際の一時保護のために居室の確保を行います。

障害者総合相談支援センター事業 新規
647万円
平成24年度から3か年で全ての福祉サービス支給対象者にケアプランの作成が義務化されることに伴い、障害者総合相談支援センター機能を障害者福祉課に確立し、区内の相談支援事業体制を充実するとともに人材の育成を行い、障害者サービスの向上を図ります。

生活保護受給者等メンタルケア支援事業 新規
630万円
精神疾患を有する生活保護受給者が増加傾向にあるため、精神保健福祉士等の専門的な知識を持つ「メンタルケア支援員」を配置し、ケースワーカー等とともにきめ細かな自立支援を促します。

地域リハビリテーション推進事業 新規
42万円
住み慣れた地域において、予防から急性期・回復期・維持期まで切れ目のないリハビリテーションサービスを受けられるよう、区内の医療、保健及び福祉関係者による推進会議を通じ、関係機関との連携強化を図ります。

新型インフルエンザ対策行動計画改定等 臨時(新規)
51万円
医師、歯科医師及び薬剤師を委員とする連絡会を通じ、新型インフルエンザ等の新たな感染症による健康危機に迅速かつ機動的な対応がとれるよう、行動計画の見直しや感染症発生時の連携体制を構築します。

西麻布いきいきプラザ等改築 臨時(継続)
4億9,357万円
西麻布いきいきプラザ等の改築工事を行います。

ひとり暮らし高齢者等熱中症予防用品配布事業 臨時(継続)
259万円
熱中症を防ぐため、冷却用スカーフの各戸配布を行うとともに、熱中症予防の普及啓発活動を行います。

(社福)恩賜財団母子愛育会附属愛育病院建設支援 臨時(継続)
3億9,468万円
周産期医療・小児医療の充実を図るため、田町駅東口北地区に整備する愛育病院の建設費の一部を補助します。

バリアフリー化の計画的な推進 臨時(継続)
552万円
平成19年度、20年度に策定した5つの重点整備地区(浜松町駅・赤坂駅・六本木駅・白金高輪駅・田町駅周辺地区)のバリアフリー基本構想を踏まえ、公共交通特定事業計画等の事業進捗を把握するとともに、区有施設について現状を調査し、特定事業計画の策定を行います。

芝地区いきいきプラザ(3館)管理運営 レベルアップ
2億3,966万円
三田いきいきプラザ、虎ノ門いきいきプラザに加え、新たに神明いきいきプラザを開設します。

コミュニティバス等福祉事業 レベルアップ
1億2,663万円
高齢者、障害者、妊産婦等を対象に、コミュニティバスに加え、台場シャトルバスの利用料金についても助成します。

ひとり暮らし高齢者等見守り推進事業 レベルアップ
7,168万円
地域に出向き、ひとり暮らし高齢者等を見守り、生活実態の把握や必要な支援サービスの相談を実施している「ふれあい相談員」を現在の2地区から5地区に拡大します。

いきいきプラザ(16館)介護予防事業 レベルアップ
1億1,207万円
高齢者が要支援・要介護にならないために介護予防事業の実施施設を拡大するとともに、実施回数を増やし、内容の充実を図ります。

二次予防事業対象者把握事業 レベルアップ
8,490万円
新たに生活機能評価の未受診の区民を対象に元気づくりポイントシート(基本チェックリスト)を送付することで、二次予防事業参加者の拡大へつなげていきます。

ホームヘルプサービス等利用者負担助成 レベルアップ
1,022万円
在宅で介護を必要とする低所得者が、できるだけ住み慣れた地域で生活ができるよう、訪問系サービスに新設される定期巡回・随時対応型訪問介護看護などについて、利用者負担軽減事業の対象サービスを拡大します。

❸子どもの個性や創造力を伸ばす教育の推進

朝日中学校通学区域小中一貫教育校建設 臨時(継続)
4億6,734万円
朝日中学校通学区域小中一貫教育校の建設工事を実施します。

新教育センター整備 臨時(継続)
464万円
新教育センター整備に必要な都市計画の手続に向け、国をはじめとした関係者との調整を行います。

学校ICT環境整備 臨時(継続)
2,366万円
平成23年度にモデル校として小学校2校・中学校1校に導入した電子黒板について、新たに小学校9校及び中学校4校に導入します。また、幼稚園の情報セキュリティ対策を実施します。

デジタル教科書本格導入 臨時(継続)
2,294万円
平成23年度にモデル校として小学校2校に導入したデジタル教科書について、小学校全校に本格導入します。また、モデル校として中学校2校にも導入します。

放課後児童育成 レベルアップ
1億6,902万円
放課後に児童が安心して安全に過ごせる居場所づくりとして、新たに赤羽小学校及び白金小学校に放課GO→を開設します。

3 地域の活力があふれるまち

❶活力に満ちた地域経済の推進

港区商品モニター調査支援事業 新規
562万円
中小企業が消費者の声を吸い上げた商品開発や商品改良ができるよう、商品モニター調査の実施を支援します。

オーダーメイド経営強化支援事業 新規
333万円
港区におけるビジネスサポート事業所の集積を生かし、企業活動や経営を支援する法務、財務、デザイン等のプロジェクトチームを編成し、成長性の高い中小企業の更なる飛躍を後押しするため、実効性の高い経営戦略プランを作成

し、経営改革の実現を支援します。

小規模事業者経営改善資金融資利子補助 新規
330万円

東京商工会議所の経営指導を受けた上で、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金融資を受ける区内小規模企業に対し、金利負担が大きい当初3年間、利子の一部を補助します。

港区観光ボランティア活動支援事業 新規
400万円

港区観光ボランティア育成講座を修了した観光ボランティアが、今後、活動を円滑に行っていくために必要な支援を行い、観光客のニーズにあった観光案内ができる体制を整えます。

港区観光インフォメーションセンター運営 臨時(新規)
849万円

港区の観光の魅力をより広く発信するため、東京モノレール浜松町駅(予定)に、港区観光インフォメーションセンターを試行的に設置します。

水辺観光推進事業 臨時(新規)
70万円

港区の観光の魅力を高めるため、港区の地域特性を生かし、運河、水辺等を活用した、舟運事業の実施を支援します。

区内共通商品券発行支援 臨時(継続)
5,000万円

区内の消費需要の創出や、区内商店街の活性化のために、区内共通商品券(発行金額1億1千万円)のプレミアム分と運営・発行経費の一部を補助します。また、一般商品券等発行に要する供託金分を貸し付けます。

商店街変身戦略プログラム 臨時(継続)
550万円

平成23年度に実施している商店街周辺市場志向調査の結果を踏まえた活性化の実現に向けて、魅力ある商店街への一体的な変身を包括的・集中的に支援します。

港区ものづくり・商業観光フェアの開催 臨時(継続)
2,795万円

ものづくり、商業、観光の魅力を紹介する第4回「港区ものづくり・商業観光フェア」(隔年開催)を実行委員会と共催で実施します。

歴史観光資源の活用・促進 臨時(継続)
158万円

忠臣蔵をテーマとしたハリウッド映画「47RONIN」が平成24年12月に全世界で公開されることを契機に、区内のゆかりのある観光資源を幅広く紹介し、地域への周遊・波及効果を高めるためのフォーラムを開催します。

新製品・新技術開発支援 レベルアップ
1,574万円

市場性の高い新製品・新技術の研究開発に係る経費の一部を助成し、製品等の開発と高付加価値化を実現するための企業の取組を支援します。平成24年度は、地球温暖化や原発事故の影響により関心が高まっている、環境・新エネルギー分野への取組について「環境・新エネルギー開発枠」を新たに設け、支援を拡充します。

中小企業リフレッシュ出前相談プロジェクト レベルアップ
1,251万円

区内中小企業の業況が依然として厳しく、先行きも不透明な状況の中、企業巡回相談を各地区週1回から週2回に増やし、区内中小企業の経営支援の一層の充実を図ります。

融資事業 レベルアップ
20億9,858万円

国のセーフティネット保証対象業種の縮小を想定し、業績低迷の中小企業に対する融資を再構築することで、メリハリのある支援を展開します。

❷地域のつながりを大切にする施策の推進

芝地区総合支所地域事業
3,303万円

▶芝地区地域コミュニティサポートスタッフの養成【新規】 196万円
地域のコミュニティづくりや人と人とをつなぐ役割を果たす人材を養成します。
▶芝地区スポーツイベント等をとおしたいわき市の子どもとの交流【新規】 111万円
スポーツイベントなどを楽しむ中で、芝地区といわき市の子どもの交流を深めます。
▶芝地区高齢者らくらくウォーキング事業【新規】 213万円
足腰に負担のかからない方法でウォーキングを行い、芝地域の魅力再発見につなげるため、歴史や文化等の建物を巡ります。
▶芝地区高齢者の買い物支援【新規】 90万円
買い物に困っている地域のひとり暮らし高齢者等に対して、気軽に利用できる買い物支援サービスをモデル事業として実施します。
▶芝地区の地域性にあった災害対策の推進 50万円
▶芝地区事業者向け防災対策の推進 300万円
▶芝地区区民や事業者との協働による快適な公園づくり 550万円
▶芝地区環境と平和を考え地域の交流を深める事業 434万円
▶芝地区芝の地域力再発見事業 950万円
▶芝地区区民の交流をとおした地域ルールづくりの推進 50万円
▶芝地区の魅力発掘・発信の推進 249万円
▶芝地区福祉カレンダーの作成 111万円

麻布地区総合支所地域事業
3,821万円

▶麻布地区協働事業提案制度【新規】 38万円
区民からの事業提案を総合支所で選定し、事業化する仕組みを構築します。
▶麻布地区防災案内事業【新規】 300万円
防災情報の浸透と発災時の混乱予防のため、防災マップ案内板を公園に設置するとともに、災害時に避難所に掲出する帰宅支援マップ等を作成します。
▶麻布地区みんなと安全安心コミュニティプロジェクト【新規】 518万円
地区の現状を踏まえた課題について詳細分析を行い、解決に向けた取組を実施します。
▶麻布地区「麻布の絆」活性化事業【新規】 83万円
地域の連帯感を高めるため、小学生を対象に、地域への愛着を表現したシンボルマークの募集や、地域交流活性化のキャンペーンを行います。
▶麻布地区地域サロン事業【新規】 168万円
高齢者の居場所としての地域サロンの充実と、地域ボランティアの養成を図ります。
▶麻布地区防災ネットワーク構築事業 380万円
▶麻布地区アートフェスタ 700万円
▶麻布地区麻布未来写真館 512万円
▶麻布地区国際協働事業 348万円
▶麻布地区飯倉片町地下横断歩道小学生児童絵画展示事業 50万円
▶麻布地区おもちゃライブラリー 39万円
▶麻布地区あざぶ達人倶楽部事業 684万円

赤坂地区総合支所地域事業
3,667万円

▶赤坂地区区民とともにつくる魅力ある歩行空間整備 699万円
▶赤坂地区企業等連携防災行動計画支援 499万円
▶赤坂地区講談を活用した地域情報の発信 30万円
▶赤坂地区メディアアート展 760万円
▶赤坂地区赤坂・青山子ども中高生共育事業 750万円
▶赤坂地区赤坂・青山歴史、文化、芸術のまちづくり 929万円

高輪地区総合支所地域事業
4,476万円

▶高輪地区災害時の地区内井戸の活用【新規】 607万円
地区内の井戸を飲料水・生活用水として利用できるよう水質・水量等の調査を実施します。
▶高輪地区地区内大学生の災害時ボランティア活動【新規】 389万円
地域防災力と地域力向上のために、地区内の大学と連携し、大学生を対象に防災に関する講座、訓練等を実施します。
▶高輪地区歴史・文化資産のデジタルアーカイブ【新規】 998万円
歴史・文化資産に関する資料をデジタル化し、蓄積・保存するとともに、ホームページ等を通じて公開します。
▶高輪地区ほっとひといき子育て相談【新規】 233万円
就学前の乳幼児を抱える保護者に対して、保健師、助産師、管理栄養士の専門家による子育て相談を行います。
▶高輪地区止まり木のある道路づくり【新規】 314万円
坂道の途中や休憩スペースが確保できる場所にベンチや背もたれ、手すりなどを設置します。
▶高輪地区ソーラー蓄電システムほかの設置 200万円
▶高輪地区みどりのプロジェクト 350万円
▶高輪地区さくらリバース高輪 245万円
▶高輪地区白金高輪グリーンミュージックフェスティバル 441万円
▶高輪地区コミュニティ広場 120万円
▶高輪地区施設間等地域交流 209万円
▶高輪地区ウッディランドたかなわ 372万円

芝浦港南地区総合支所地域事業
4,302万円

▶芝浦港南地区自転車シェアリング事業【新規】 100万円
自転車を有効活用する方法について調査します。
▶芝浦港南地区ベイエリア防災行動力向上事業【新規】 118万円
災害発生時の被害の低減を目指し、地域特性に即した防災に関する情報を提供することにより減災対策に取り組みます。
▶芝浦港南地区ベイエリア防災プロジェクト【新規】 249万円
地域全体の安全確保のため、地域と事業者の連携・協力による地域特性に対応した防災対策に取り組みます。
▶芝浦港南地区ベイエリアカレッジプロジェクト【新規】 115万円
地域資源である運河、東京湾等をテーマとする講座や地区内大学が有する資産を活用した講座を開講します。
▶芝浦港南地区MINATOベイエリアウォーク【新規】 100万円
芝浦港南地区を起点としたウォーキングイベントを実施します。
▶芝浦港南地区憩いの水辺空間創出事業 300万円
▶芝浦港南地区運河・水辺の魅力アップ事業 630万円
▶芝浦港南地区水辺フェスタ 560万円
▶芝浦港南地区ベイエリアブランドの創出 325万円
▶芝浦港南地区みどりがつなぐ交流事業 330万円
▶芝浦港南地区地域の政策形成・課題解決プロジェクト 320万円
▶芝浦港南地区秋田県にかほ市交流事業 230万円
▶芝浦港南地区子育てあんしんプロジェクト 925万円

(仮称)虎ノ門三丁目集会室管理運営 新規
244万円

虎ノ門三丁目に、災害対策職員住宅とあわせて集会室を開設します。

(仮称)港南区民協働スペース管理運営 新規
99万円

港南四丁目に、たかはま保育園・港南子ども中高生プラザとあわせて区民協働スペースを開設します。

新橋六丁目公共施設建設 臨時(継続)
2億7,896万円

新橋福祉会館・児童館の跡地に、子育て支援施設等を整備します。

旧飯倉小学校跡地活用施設整備 臨時(継続)
2億6,110万円

東日本大震災を踏まえ、防災機能の充実の強化の視点も入れながら、旧飯倉小学校の校舎等を区民協働スペース及び暫定学童クラブとして改修するための実施設計及び工事を行います。

台場の新規地域交通の運行 臨時(継続)
3,497万円

台場地域住民の生活利便性を確保するとともに、台場地域の魅力を向上させるため、台場地域から田町駅及び品川駅をつなぐ台場シャトルバスの運行を支援します。

麻布区民協働スペース管理運営 レベルアップ
206万円

麻布地区総合支所2階に暫定区民協働スペースを移設・整備します。

❸文化・スポーツに親しむ環境の創出

文化芸術のちから集中プログラム 新規
515万円

多くの区民等が文化施設に身近に接する機会を創出し、区の文化芸術振興を総合的に発信するため、観光・商店街振興と連携を図った上で、区内の文化芸術関係施設等との協働事業を実施します。

国際文化紹介事業 新規
104万円

区内に所在する大使館と協力し、海外諸国の文化・伝統等について、区役所ロビーで展示パネル、音楽、民芸品等を紹介することで、区民が区と関わりの深い国を理解し、国際交流を身近にとらえる機会を創出するとともに、区と大使館との連携強化を図ります。

芝浦協働会館維持補修等 臨時(新規)
973万円

芝浦協働会館の活用方法や維持管理手法等を検討する協議会の開催と本施設を維持管理するための補修工事を実施します。

文化芸術振興プラン策定 臨時(新規)
580万円

区の文化芸術振興施策をより総合的に推進するため、文化芸術振興プランを策定します。

国民体育大会の準備 臨時(継続)
3,199万円

平成25年開催の第68回国民体育大会(東京国体)における「なぎなた競技」の開催のため、準備作業を行うとともに、リハーサル大会を実施します。

麻布図書館等改築 臨時(継続)
1億429万円

麻布図書館等の建設工事を行います。

旧国立保健医療科学院整備活用 臨時(継続)
940万円

旧国立保健医療科学院の建物等を活用した新郷土資料館等の整備に向けて、改修のための基本構想及び基本計画を策定します。

新郷土資料館展示・運営等準備 臨時(継続)
686万円

新郷土資料館の整備に向け、資料の展示・運営管理等に係る基本計画を策定します。また、展示資料等の購入や複製品の製作を行います。

❹区民参画を推進する環境の整備

区民の声センター運営 新規
7,045万円

区民から寄せられる意見や提案、相談等に迅速かつ的確に対応するため、区民の声センターを設置します。また、既に委託されている庁舎総合案内、港区コールセンター等の業務を統合し、区民の声を最初に受ける業務との一元化・一体化による広聴機能強化を図ります。

区議会本会議等の生中継化 レベルアップ
233万円

区議会本会議の代表・一般質問の録画によるインターネット配信に加え、新たに生中継での配信を行います。また、予算特別委員会及び決算特別委員会の総括質問についても、生中継及び録画でのインターネット配信を実施します。